

Case.7

電子製品の大敵である放電現象を正確に解析



そうだ ゆたか
早田 裕 さん

第5期生(平成24年度修了)

屋号 プローブテック

創業日 平成25年3月1日

創業時の年齢 63歳

所在地 厚木市飯山

E-mail probetec@wd5.so-net.ne.jp

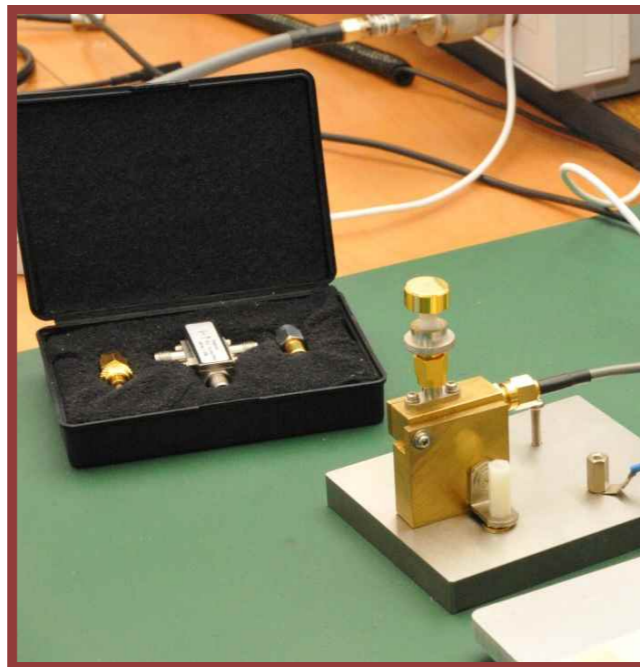
事業内容 放電電流プローブ・高周波電流プローブの開発、設計及び製造

放電電流を検出する放電電流プローブや高周波電流プローブを製造、販売している早田裕さん。会社のホームページには、ほぼ毎日、静電気発生予報を掲載しています。お出かけ前にチェックしてみたいはいかがでしょうか？

放電電流による製品の不良原因を解析

静電気等の放電電流を検出する放電電流プローブや高周波電流プローブの開発・設計・製造を行っています。冬になると静電気で嫌な思いをすることがありますが、このような放電電流によって、電子製品が不良になったり、着火・爆発するリスクが生じます。こうした問題を解決するためには、放電現象を正

確に解析する必要があり、弊社の放電電流プローブはこれを安定的に再現性よく測定することが可能です。



工作機械を購入し自ら試作品を製作

企業の研究員だったので、起業については何も分からず、経済的にも精神的にも多くの壁がありました。

しかし、あつぎ起業スクールを受講し、講師や先輩創業者の体験談を聞くうち、少しずつ起業に対する壁がなくなりました。

また、講義で企業会計について学んだことがとても役立ちました。コスト意識を持つようになり、資本金内での製品開発ができるよう、自ら工作機械を使っての試作品作りなど、コストを抑える工夫をしています。

個人事業主なので信用を得ることが難しい

製品は、大学や研究所、デバイスメーカー等で利用されています。何を始めるにしても、信用が大事ですが、私が苦勞しているのもこの信用です。既存製品を作っているのは、世界の大手企業なので、新規開拓はなかなか難しいです。ましてや個人事業主が営業をしても断られることが多く、学会や研究会などで作った人脈だけが頼りです。ただ、それだけだと地方の企業と接触できないことが悩みです。



成功するか諦めるか

部品の手配や購入手続き、帳簿への記入など、何もかも初めての体験でした。部品を外注するにしても、信用できる業者を探すのにも苦勞しましたし、外注に出すための設計図面は、自ら勉強して書き上げたので大変でした。

先輩創業者から聞いて、今でも覚えている言葉に「起業は、成功か失敗かではない、成功か諦めるかだ」という言葉があります。起業は諦めなければいつか成功する。そんな思いでこれからも頑張っていきます。

起業を目指す方へ

商品が売れなくても、自分がやりたいことを、楽しんでやるのが大事ではないでしょうか。起業後、数年間は思い通りにいかないかもしれませんが、経済的な面を考えて、数年分の資金は起業前に貯めておく必要があります。長く続けられるような計画を立ててください。

